



三豊市立河内小学校少年消防クラブ 香川県三豊市



クラブ代表者

豊田真由美 川崎百桃
大谷康晟
熊岡奈実 松浦祐仁

参加したクラブ員の言葉

大谷 康晟(6年)

僕たちは、香川県代表として、JR予讃線と高德線を乗り継いで、交流大会の開催される徳島市に向かいました。列車の中では、一日目のクラブ紹介で、クラブ員5名で香川県や三豊市の紹介をどのように行うか相談しながら、不安でいっぱいでしたが、実際には参加者が和気あいあいとしてとても楽しかったです。沖縄県から参加しているチームもあり驚きました。大会二日目の障害物競走とクラブ対抗リレーでは緊張しましたが、練習の成果が出せたと思います。消防のホースが重たく感じました。大きな地震や災害が発生したときには、交流大会で学んだことを絶対に役に立てなくてはいいと考えています。

松浦 祐仁(5年)

僕は、西日本少年消防クラブ交流大会に河内少年消防クラブ代表として参加しました。障害物リレーでは、徳島県の川崎小学校チームと争いました。僕は第1走者で先ず障害を飛び越え、ハードルを跳び、平均台をわたって、ホースをつないでいきました。最後のロープ結びでは、本結びでした。学校での練習で、消防署の方が熱心に教えていただいたり、家でも練習していたのでうまく出来ました。リレーでは僕は第4走者でした。練習どおりホースとホースを連結して、最終走者にバトンを渡すことができましたと思っています。結果は入賞できませんでしたが、中学生チームも出場していた中で、力を発揮できたので、来年も出場できるのなら、優勝目指してがんばりたいです。

▼学校での訓練風景



KAGAWA

合同訓練・競技前▶

川崎 百桃(6年)

私は今回の少年消防クラブ交流大会に参加して、災害のことがよく分かりました。そして、他のクラブが行っている活動についても知ることができたり、中学生クラブの活動紹介もあり、大変勉強になりました。一番印象に残っているのは、2つの競技のことです。障害物競技では、ホースを結合した後に、ロープを決められた結び方で結んでゴールできたときは、正直ほっとしました。次の競技では、第3走者として、ホース先の金具のバトンを受け取り、ハードルを飛び越えて、何とかぐりぬけ、次の走者にバトンを渡しました。目標の5位入賞は果たせませんでしたが、自分に自信がもてたような気がします。また、他の学校やクラブの人と仲良く話が出来たりしてとてもよかったです。学校での少年消防クラブの活動に、今回参加して学んだことを生かしていきたいです。



豊田 真由美(6年)

私にとって8月に2泊3日で参加した徳島市での少年消防クラブ交流大会は、小学生最後の夏休みの一番の思い出です。他県から出場しているクラブチームと汗を流しながら競い合った競技はとても緊張しました。結果発表のときは胸がドキドキしました。入賞したチームと4秒違いだったのはとても残念でしたが、みんなで力を合わせてがんばった記録なのでうれしかったです。競技の後は、徳島県赤岡小学校の人たちとバスに乗り、人形浄瑠璃を初めて見学しました。最後に人形を見学者にも体験で使わせてくれました。私は舞台上上がるのがはるかかったので、希望しませんでした。とてもたくさんのことを勉強できた3日間でした。

▼クラブ活動紹介



熊岡 奈実(5年)

私は8月7日～9日まで少年消防クラブ交流大会に参加して、一番印象に残っているのは徳島県消防学校での「合同訓練」です。「合同訓練」では、ロープの結び方やホースの連結の仕方、消火器の使い方など、たくさんのことを学びました。競技の結果は、全体の第6位という予想以上の記録を出すことができました。これは、消防署の人たちが一生懸命に私たちに教えてくださったおかげだと思います。それから、阿波十郎兵衛屋敷の見学や阿波踊りの体験、消防団の方々との交流があって、学校だけでは学べない体験をすることが出来ました。また、いろいろな県の人と話をすることもできて、お互いの絆を深めることも出来ました。

最後に、交流大会に協力してくださった人にとっても感謝しています。